

科目	学年・小学科	単位数
商業・電子商取引	3年選択・情報システム科	2
教科書	実教出版「電子商取引」	
副教材	なし	

## 1. 学習目標

情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得させ、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育てる。

## 2. 学習方法

知識理解（座学）→基本演習→応用演習（成果物の提出・発表）  
基本的には上記の内容を単元毎実施していきます。（発表については全ての単元で行うものではありません）

## 3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき、商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲を持って、電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。
② 思考・判断・表現	電子商取引システムを構築するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり、顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信ができる。知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。
③ 技能	図形や静止画、動画、音声などのマルチメディアを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および、ウェブページの作成技法を身につけ実際に作成できる。
④ 知識・理解	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに、ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身につけている。
⑤	

科目名	学年・小学科	単位数
電子商取引	3年・情報システム科	2

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	1章 1節 情報通信技術の進歩とビジネス	ビジネスの形態 ビジネスの広告・広報活動						①情報通信技術の活用によるビジネス形態の変化に関心を持ち、身近な具体例でその特徴を理解しようとした。・電子商取引における広告の大切さに気づき、そのための基礎知識を身につけようとした。 ②身近なウェブページの広告の特徴を、見やすさ、分かりやすさ、印象深さなどの視点で考察できる。 ③基本的な図形の描画などができる。 ④ビジネスと情報通信技術の関連、それによるビジネス形態や消費者購買行動の変化について説明することができる。個人情報や知的財産権の特徴と保護の重要性について説明することができる	授業観察 (関心・意欲・態度・技能) プリント提出 (知識・理解) レポート提出 (思考・判断・表現) グループ学習 発表 (表現・知識・理解) 考查 (思考・判断・表現・知識・理解)
	2節 情報通信ネットワークの活用と課題	企業の役割と業務 個人情報と知的財産権の保護	○	○	○	○			
前期末	2章 1節 ファイル形式	図形ファイルの形式 静止画ファイルの形式 動画ファイルの形式 音声ファイルの形式						①図形、静止画、動画、音声などによる情報の表現に興味を持ち、その特徴や表現手法を積極的に学ぼうとした。ソフトウェアを活用したコンテンツの制作に積極的に取り組もうとした。 ②ソフトウェアや機器を利用して、課せられた図形、静止画、動画をデザインし、その作成方法やデザインの意図について説明することができる。 ③ソフトウェアや機器を利用して、さまざまな図形、静止画、動画、音声などを作成・デジタル化することができる。 ソフトウェアを利用して図形、静止画、動画、音声などの補正、画像効果、トリミングなどの編集ができる。 ④図形、静止画、動画、音声などの特徴と役割を説明できる。図形、静止画、動画、音声などの補正や効果、取り込みなどの編集の技法について理解している。	授業観察 (関心・意欲・態度・技能) プリント提出 (関心・意欲・知識・理解) 成果物提出 (関心・意欲・技能) グループ学習 発表 (表現・知識・理解) 考查 (思考・判断・表現・知識・理解)
	2節 図形	基本図形の取り込みと編集 組織図の取り込みと編集 グラフの取り込みと編集							
	3節 静止画像	静止画の取り込み 静止画の編集	○	○	○	○			
	4節 動画	動画の取り込み 動画の編集							
後期中間	3章 1節 ウェブページ制作までの手順	分析と企画・立案 制作の手順と方法						①ウェブページに関して、その制作技術や広報活動に興味を持ち、自ら進んで知識を学ぼうとした。 ②ウェブデザインにおいて、条件に沿ったコンセプトを自ら考え、それをウェブページに表現をしようと工夫することができる。また、処理に応じた適切なソフトウェアを選択できる。 ③画像・HTMLタグ・ハイパーリンク・スタイルシート(CSS)を利用した基礎的なウェブページを作成することができる。スクリプトを利用したウェブページを作成することができる。CMSを活用したウェブサイト構築することができる。 ④色彩、フォント、レイアウトなど、デザインするための基礎的な知識を理解している。ウェブページを制作し、公開するまでの基本的な手順を理解している。ウェブページの基本的な構成と、ハイパーリンクやスタイルシート(CSS)などの機能について理解している。スクリプト(Javascriptなど)の基本的な構成と機能について理解している。	授業観察 (関心・意欲・態度・技能) プリント提出 (関心・意欲・知識・理解) 成果物提出 (関心・意欲・技能) グループ学習 発表 (表現・知識・理解) 考查 (思考・判断・表現・知識・理解)
	2節 ウェブデザイン設計	ウェブデザインの基礎 配色 フォント ロゴデザイン	○	○	○	○			
	3節 ウェブページ制作の基礎	タグの直接入力による制作 ウェブページ作成ソフトウェアによる制作 ワープロソフトウェアによる制作							
	4節 ウェブページ制作の応用	CMSの利用 CMSによるウェブサイト構築例							
後期末	4章 1節 ウェブページの種類と機能	公開に用いられるネットワーク技術 公開に用いられるネットワーク機器と通信回線						①ウェブページの公開について、その仕組みや具体的手法を積極的に学ぼうとし、公開するために必要な機器やソフトウェアに関心を持って意欲的に取り組んだ。 ②コンピュータの構成や特徴、ハードウェアの仕組み、またソフトウェアの役割について思考を深め、目的に応じて適切な選択を行うことができる。 ③基本的なHTML言語を理解し、簡単なWEBページを作ることができる。 ④ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに関する基礎知識を身につけ、その働きや仕組みについて答えることができる。	
	2節 公開の方法	公開のしくみ 公開 独自サーバの導入 HTMLによるwebページの作成	○	○	○	○			
後期末	5章 1節 電子商取引のしくみ	電子商取引の概要 電子商取引に関する法規 電子商取引をおこなうための手順						①電子商取引システムの構築に関心を持ち、その手順や作成の方法を積極的に学び、ソフトウェアの特徴を生かした実習に意欲的に取り組み、知識・技術を身につけようとした。 ②電子商取引におけるさまざまな法律による規制について配慮することができ、システムの特徴を理解し、適切なソフトウェアを判断することができる。 ③目的に応じた電子商取引システムを構築(修正)できる。 ④電子商取引の意義や電子商取引サイトを開設、開業するための手順について説明できる。システム構築を行うソフトウェアに関する知識・技術を身につけ、その役割や機能について答えることができる。	ノート記述の評価 (関心・意欲) プリント提出 (知識・理解) レポート提出 (思考・判断・表現) グループ学習 発表 (表現・知識・理解) 考查 (思考・判断・表現・知識・理解)
	2節 企業間取引と企業対消費者間取引	企業間取引 企業対消費者間取引 情報通信ネットワークを活用したその他のビジネス	○	○	○	○			
	3節 電子決済のしくみと方法	電子決済の仕組み 電子商取引における決済方法							
	4節 電子商取引システムの作成	電子商取引のシステム構築(1) ショッピングカート 実際の取引(1) 受注管理(1) 電子商取引のシステム構築(2) 実際の取引(2) 受注管理(2)							